

AFC REPORT

2024年3月期 第2四半期
2023.4.01 ▶ 2023.9.30



 空港施設株式会社

証券コード:8864



東京国際空港
エンジンメンテナンスビル南棟



鹿兒島空港
シミュレーター棟



新宿やわらぎビル



シンガポール・セレーター空港
エアバス・アジア・トレーニングセンター



東京国際空港
SDプラント



ブルーコーナー UC店

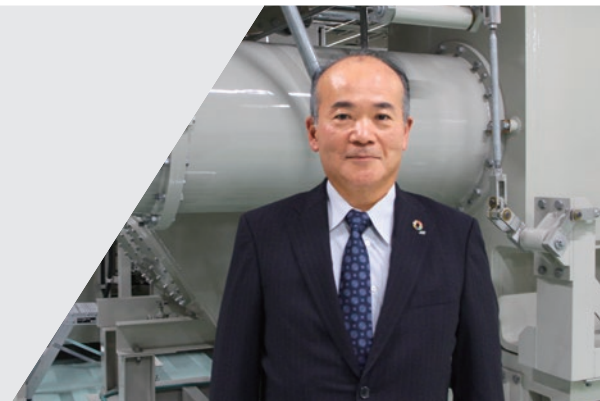


社長メッセージ

重点施策を中心に 中長期経営計画の早期達成に向けた 取り組みを加速させてまいります。

代表取締役社長執行役員

田村 滋朗



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行したことで経済活動の正常化が進み、航空業界には国内外から多くのお客様が戻ってまいりました。一方、為替相場・エネルギー価格の変動やウクライナ・中東情勢等注視すべきことも多くございます。

2024年3月期第2四半期の業績につきましては、前期末に一部空港外の事務所ビルや京都ホテルを売却したものの、空港利用者の回復による給排水使用量のコロナ前並みの回復、熱供給販売量の増加、販売用不動産の取得等により、売上高131億1千万円を計上いたしました。営業利益は、当社創業の地・羽田空港一丁目を再開する「羽田空港一丁目プロジェクト」の始動による資産除去債務に関する償却費負担が継続するものの、熱供給事業の原材料費が減少し、19億2千万円となりました。営業外収益として昨年度投資した航空機ファンドの収益等計上により、経常利益は19億4千万円、四半期純利益は12億4千万円となっております。

そのうえで、中間配当はお約束通り1株あたり7円とさせて

いただきました。年間配当は1株あたり14円を予定しております。

2024年3月期は中長期経営計画の2年目として、重点施策のひとつである「ノンアセット事業」を育成・推進すべく、不動産の回転型事業を強く進めております。

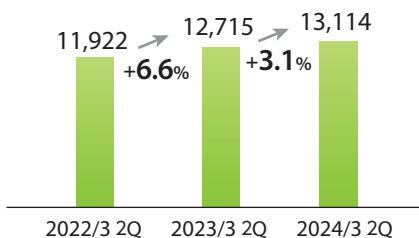
同事業に必要な販売用不動産として、6月に新宿やわらぎビルを、8月に静岡市にて五風来館を取得しております。10月にも日本橋浜町2丁目ビル、一番町27ビルを取得し、計画を前倒して不動産の取得を進めております。今後、出口戦略のもと、物件のバリューアップを図り、売却益の取得、将来的には私募ファンド、私募REITの組成に向け尽力してまいります。

また、当社が出資・参画する羽田みらい開発株式会社と大田区で開発した大型複合施設「HANEDA INNOVATION CITY」が11月16日にグランドオープンを迎えました。本年8月には機械式駐車場をオープンし、駐車場事業を拡大しております。

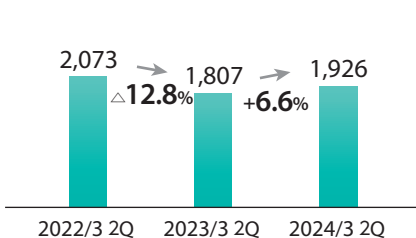
株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年3月期第2四半期 業績ハイライト

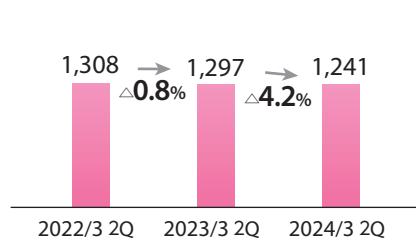
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



親会社株主に帰属する
四半期純利益 (百万円)



業績ハイライト

- 1 前期に一部空港外の事務所ビルや京都ホテルの売却があったものの、空港利用者の増加による給排水使用量の回復が継続、猛暑による熱供給事業の販売量の増加、販売用不動産の取得やHANEDA INNOVATION CITYでの駐車場事業の拡大等事業の推進により売上高が増加。
- 2 営業利益については、前期から引き続き、羽田空港一丁目プロジェクトによる資産除去債務に関する減価償却費の負担をしていることに加え、販売用不動産の取得による費用の計上や熱供給事業の修繕費の増加があるものの、熱供給事業の原材料費の減少により、増益。
- 3 当第2四半期より、航空機ファンドによる配当収入を営業外収益で計上。前期において、法人税及び消費税の修正申告を行ったことによる特別利益の計上があったが、当第2四半期においては特別利益・特別損失の大きな計上はなかったことから、四半期純利益は12億円。

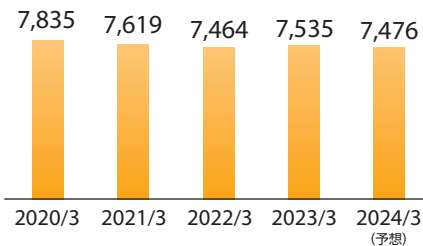
キャッシュ・フローについて

当社の直近3期の利益水準^{*1}は、売上高の増加に比べ横ばいでの推移となっております。主な要因は、当社創業の地・羽田空港一丁目を再開する「羽田空港一丁目プロジェクト」の始動による資産除去債務に関する償却負担の増加です。EBITDA+回収金^{*2}で当社のキャッシュ・フローを見ると堅調に推移しており、当社の収益力に大きな影響は受けておりません。

*1. 親会社株主に帰属する当期純利益を除く

*2. EBITDA+回収金=営業利益+減価償却費+回収金+リース原価。回収金は融資において返済された元本を指します。

EBITDA+ 回収金 (百万円)



配当について

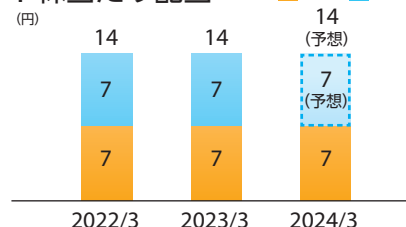
2024年3月期の中間配当は期初にお約束した通り7円といたしました。期末配当は7円、年間で14円の配当を予定しております。

当社の配当政策は連結配当40%以上(年間)を基本に、持続的成長を目的とした将来投資への備え、財務健全性の維持、安定的で継続的な株主還元のパランスを勘案しながら検討しております。

中間配当

7円

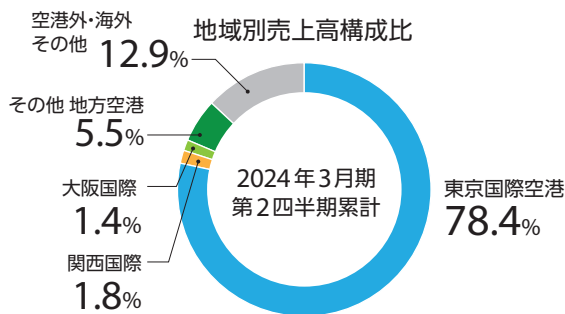
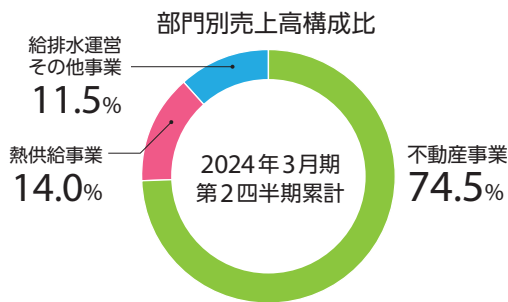
1株当たり配当



当第2四半期のセグメント別事業概況

当社ならではの事業ポートフォリオとして、空港及び空港周辺を中心とする不動産事業、空港インフラを支える熱供給事業、給排水運営その他事業を展開しています。

東京国際空港を中心とした国内の主要空港及び海外空港で事業を展開しておりましたが、近年では空港外でも事業を展開しており、活躍のフィールドが広がっています。



当社施設分布図

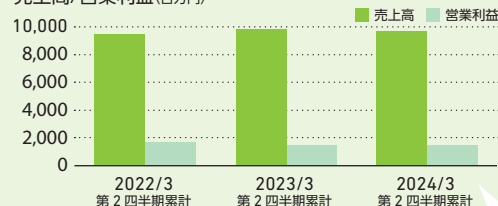


不動産 事業

売上高 2024年3月期 第2四半期累計

97億円 (前年同期比0.6%減)

売上高/営業利益(百万円)



前期にホテルやビルの売却があったものの、販売用不動産の取得、駐車場事業の拡大により売上高はほぼ横ばいに推移。前期より計上している資産除去債務関連の償却費や不動産取得税の増加により営業利益は微減。

●主要事業

国内外の空港、空港沿線等における多目的総合ビル、格納庫、整備工場、共同住宅、ホテル等の不動産賃貸、回転型事業

●主要な会社

空港施設株式会社 / AFC アセットマネジメント株式会社 / AIRPORT FACILITIES ASIA PTE. LTD. / AFS PROPERTIES PTE. LTD.

●最近の投資

HANEDA INNOVATION CITY / 広島基町NSビル
新宿やわらぎビル / 五風来館

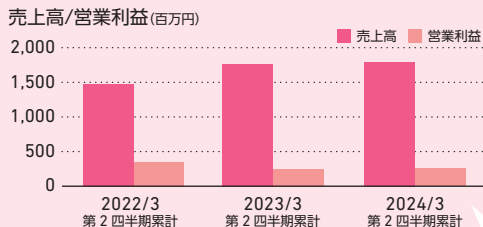
※ 第1四半期より、「不動産賃貸事業」としていたセグメントの名称を「不動産事業」に変更しております。名称変更による業績への影響はございません。



熱供給 事業

売上高 2024年3月期 第2四半期累計

18 億円(前年同期比 3.9% 増)



夏場の猛暑により前年同期比で販売実績が増加した結果増収。ガス料金の単価が前年より低い水準で推移したことに伴う原材料費の減少により増益。

● 主要事業

東京国際空港における冷房・暖房等の供給(地域冷暖房事業)

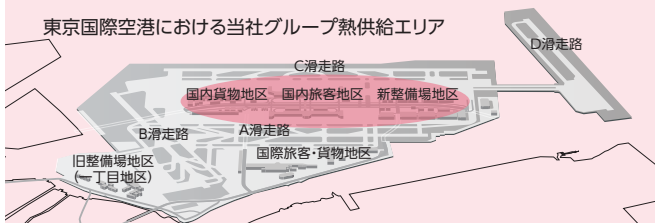
● 主要な会社

東京空港冷暖房株式会社

● 最近の投資

ボイラー更新工事

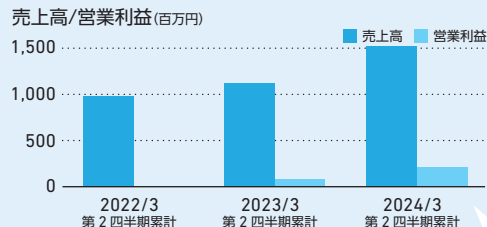
東京国際空港における当社グループ熱供給エリア



給排水運営 その他事業

売上高 2024年3月期 第2四半期累計

15 億円(前年同期比 34.7% 増)



東京国際空港利用者の回復が継続していることに加え、同空港第3ターミナル周辺のホテルや商業施設の通年稼働により、給排水使用量が増加。また、共用通信事業も堅調に推移し、太陽光発電事業も海外で新規設置があったため、増収増益。

● 主要事業

東京国際空港及び新千歳空港における給排水運営事業、共用通信事業、太陽光発電事業

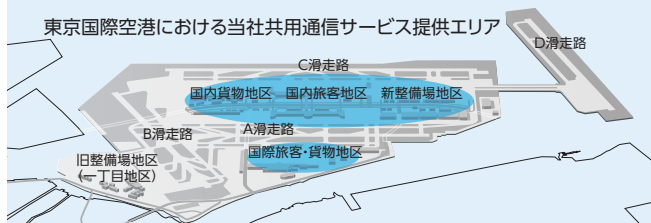
● 主要な会社

空港施設株式会社 / AIRPORT FACILITIES ASIA PTE. LTD.

● 最近の投資

シンガポール・エンジン整備工場太陽光発電設備/
共用通信ケーブル敷設工事

東京国際空港における当社共用通信サービス提供エリア



最近の取り組み

■販売用不動産を2棟取得 ～ノンアセット事業の着実な育成～

2023年度上半期において、当社グループは販売用不動産を2棟取得いたしました。当社グループは中長期経営計画における重点施策として空港外での「ノンアセット事業」の育成・推進を掲げています。その一環として不動産を取得し、その後バリューアップにより物件価値を向上させ、売却利益を獲得し、加えて私募ファンドや私募REIT組成も目指す取り組みを推進すべく、東京及び国内主要都市に所在する優良な不動産の取得を進めております。今後もノンアセット事業の育成・推進を着実にを行い、収益源の多様化や資本効率の向上により、中長期視点からの企業価値向上、中長期経営計画の早期達成を目指してまいります。

新宿やわらぎビル



「新宿三丁目」駅より徒歩3分、「新宿」駅まで徒歩圏内と交通利便性が高く、周辺にはオフィスビルや商業ビルが集積するエリアに立地しています。靖国通りに面する角地で土地の形状も良く、視認性に非常に優れています。ビルの設計・施工は鹿島建設株式会社でグレードが高く、取得後にエントランス及びファサード(外観)の改修工事を行い、物件価値の向上を図っています。

五風来館(ごふくかん)



静岡市のメインアーケード商店街である呉服町通りの中心部に位置し、周辺には超高層の複合ビルや百貨店、官公庁の施設などが集積しています。間口が約27mと広く、ビルは株式会社大林組の設計・施工でデザイン性にも優れ、事務所・店舗ビルとしての高いポテンシャルを有しています。今後、大規模な改修工事を行い、新規リーシングなどのバリューアップを図っていきます。



AFCアセット
マネジメント株式会社
代表取締役副社長
甲斐 良治

近年、日本の不動産証券化のマーケットは、私募ファンドを中心に規模を拡大させています。投資先として日本を選択している海外投資家のみならず、国内勢においても投資対象として不動産を求めています。この流れは日本の不動産の流動性を高め、その高い流動性が魅力となり、さらなる資金が流入するといった好循環となっています。

一方で不動産投資を取り巻くリスクや不確実性には様々なものがあり、現在もグローバルな環境、国内の状況など多くのリスクを抱えています。

当社が手掛ける投資は、物件の価値を回復、創造することにあります。我々はこの拡大していく不動産証券化マーケットに良質な物件を供給していくというミッションを中心に、積極的に投資を行うつつリスクをコントロールし、早期に事業が確立できるよう努力をしています。

■エンジン整備工場に太陽光発電設備を設置

2023年5月、シンガポールを拠点とするグループ会社AIRPORT FACILITIES ASIA社(以下、AFA)は、同社がシンガポール・セレーター空港で賃貸するエンジン整備工場の屋上に太陽光発電設備を設置し、賃貸先のVECTOR AEROSPACE ASIA社(StandardAero社)に売電を始めました。発電量は約48万kWh(110世帯分*)にのびります。

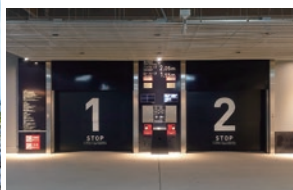
シンガポールは発電を近隣諸国に依存しており、現在、政府が主体となって再生エネルギー整備を推進しています。この状況を事業機会と捉え、設置を提案したものです。

今回の取り組みをきっかけに、海外所有施設でのさらなる太陽光発電設備の設置を検討するとともに、海外での航空関連投資を検討することで、当社の収益源の多様化、中長期経営計画の早期達成を目指してまいります。

※世帯当たり年間電気消費量4,397kwh換算(環境省「家庭部門のCO₂排出実態統計調査(家庭CO₂統計)」を参照)



■HANEDA INNOVATION CITY グランドオープン



2023年11月、当社も出資しております羽田みらい開発株式会社と大田区が官民連携で開発する「先端」と「文化」をコア産業とした大型複合施設『HANEDA INNOVATION CITY(以下、HICity)』がグランドオープンを迎えました。

当社は2020年7月のHICity先行開業より、駐車場事業とオフィス賃貸事業を行っております。開業当初は平面駐車場のみで運営でしたが、2023年8月に機械式駐車場を新たにオープンいたしました。車載ナンバーを読み取り、車両の入出庫状況をリアルタイムで管理するシステムを採用し、ストレスフリーでスムーズな入出庫を実現しております。

東京国際空港にお越しの際は是非HICityにお立ち寄りください。

駐車台数	P1東側平面駐車場 190台 P2機械式駐車場 80台
駐車料金	入庫から30分無料 以降220円/30分 最大料金 3,080円/日



公式HP



空港事業部
空港営業課
高山 征幸

複数企業と共同出資で特別目的会社(以下、SPC)を設立、SPCにて建物を建設し施設運営を行うといったHICityの事業は、当社としては初の試みでした。HICity先行開業以降、SPC出資各社をはじめ関係各社様と連携し、当社が担う駐車場事業及びオフィス賃貸業を通じて、その発展に寄与してまいりました。2023年11月のグランドオープン後もSPC出資各社と連携しながら、HICityの運営を担う一社として、より魅力ある施設の発展に寄与してまいります。

ESG・SDGsへの取り組み

■ 水素フォークリフトトライアル利用事業者に採択

2023年7月、当社は東京都産業労働局が公募した「燃料電池フォークリフトマッチング導入支援事業」に応募し、トライアル利用事業者として採択されました。

当社では、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みとして、水素を燃料とする「燃料電池フォークリフト（以下、FCFL）」の導入を検討しており、2022年6月には航空会社やフォワーダー向けにFCFLの試乗会を開催いたしました。

今回採択されたのは、東京都からの支援により、FCFLをトライアル利用できる「燃料電池フォークリフトマッチング導入支援」というものです。今後、12月から2か月間のトライアル期間において、東京国際空港国内貨物ターミナル地区にご入居のお客様にFCFLを通常業務でご利用いただくことで、機能性や操作性を体感していただき、導入効果を検証いたします。

引き続き、エコエアポート及びカーボンニュートラルの実現に向けて、可能性を模索してまいります。



2022年6月 試乗会の様子

■ SDプラントを検証試験場として提供

当社は、東京国際空港内に所有する航空機汚水処理施設（以下、SDプラント）を、新日本空調株式会社と国立大学法人東北大学に検証試験場として提供いたしました。

これは、汚水処理で発生する微生物を活用した微生物燃料電池による二酸化炭素ガス回収・固定化技術の検証実験を行うために提供したものです。当社は、国土交通省が推奨するエコエアポートの趣旨に賛同し、実現に向けた取り組みを推進しております。今回、本検証実験への連携がエコエアポートの実現に繋がると考え、提供に至りました。

本技術が実用化されると、汚水の処理効率が上がることによるエネルギー使用量の削減や、自家発電と二酸化炭素の回収により、SDプラント内でのカーボンニュートラルの実現が期待されます。



施設企画部
施設課 課長
阪上 津行

脱炭素社会の構築を目指し、当社内で環境事業推進プロジェクトが立ち上がりました。その一環として私が担当する「新技術を活用した新たな事業展開」の情報収集を進めるなか、新日本空調株式会社から当該取り組みについての話をうかがい、当社SDプラントへの実用化を思いつきました。

この取り組みには、有機物の酸化分解、発電、二酸化炭素ガス回収・固定化の効果があり、いずれもSDプラントにおいて有効な作用が働くことから、検証試験場としてSDプラントを提供させていただきました。検証試験での効果が確認され次第、SDプラントでの実用化を期待しています。



E 環境

- ・国内外で太陽光パネルの設置
- ・再生可能エネルギーによる発電、自家消費



シンガポール・セレーター空港
エンジン工場に太陽光パネルを設置

- ・新エネルギー利活用に向けた取り組み
- ・電気自動車充電スタンドの設置
- ・LED照明の導入
- ・航空機の汚水を処理する施設 (SDプラント) を提供



東京国際空港SDプラント

- ・航空機洗機施設での排水を浄化
- ・節水器、中水利用による水使用量の削減
- ・ペーパーレスの推進
- ・グリーンボンドの利用
- ・TCFD提言への賛同
- ・NEDO事業への参画



S 社会

- ・安心・安全なインフラの提供
- ・各施設へAEDの設置
- ・東京国際空港内総合防災訓練の実施
- ・自衛消防隊の訓練及び訓練審査会への参加を通じた練度向上
- ・防災備蓄品の寄贈



大阪府池田市に寄贈

- ・子ども食堂へ機内食を寄贈
- ・ダイバーシティ&インクルージョンの推進(研修実施)



D&I通信(社内向け情報発信)



G ガバナンス

- ・コンプライアンス委員会の設置による法令遵守体制の構築
- ・内部監査の実施
- ・行動指針の策定
- ・情報セキュリティ委員会の設置による情報セキュリティ管理体制の構築
- ・リスクマネジメント委員会設置によるリスクコントロール
- ・月1回の取締役会開催によるガバナンス強化
- ・取締役会の実効性評価の実施
- ・コーポレートガバナンス・コードへの対応
- ・ガバナンス(ハラスメント)研修



若手社員に向けた研修の実施

- ・公益通報窓口の設置
- ・BCPの策定・継続見直し等による事業継続性の確保
- ・適時・適切な情報開示
- ・決算説明会、スモールミーティング等での対話を通じた経営の透明性確保



株主の皆様へ

■株主優待のお知らせ

当社では、事業にご理解・ご支援を賜っている御礼として、また、投資魅力を高めるために株主優待制度(当社グループ会社が運営する、飛行機が見えるレストラン「ブルーコーナー UC店」のお食事券)を導入しております。是非ブルーコーナー UC店に足を運んでいただき、当社事業をよりご理解いただけますと幸いです。

発行基準

当社株式を100株(1単元)以上保有されている株主様を対象に、ご所有株式数に応じてお食事券を発行いたします。

発行基準日	発送時期	有効期限
3月31日	6月下旬	7月1日～翌6月30日
9月30日	11月下旬	12月1日～翌11月30日

保有株式数	内容
100株以上500株未満	お食事券2,500円分×2(年間)
500株以上	お食事券5,000円分×2(年間)

ご利用方法

お会計時にお食事券をご提示ください。お会計金額がお食事券の金額を下回り、お釣りの額が1,000円以上の場合、1,000円分のお食事割引券をお渡しいたします。1,000円未満の場合はお釣りが出ませんのでご容赦ください。また、お会計金額がお食事券の金額を上回る場合、差額分を頂戴いたします。

発行済みの宿泊割引券について

発行済みの宿泊割引券につきましては、有効期限(2023年11月30日)をもって廃止となります。ご愛顧賜りまして、誠にありがとうございました。

■飛行機が見えるレストラン「ブルーコーナー UC店」

格納庫や整備工場等、航空・空港関連施設が連なっている東京国際空港の新整備場地区にあり、そのエリアに従事する方々に愛されてきたレストラン。店内は飛行機が行き交う滑走路や旅客ターミナルが一望できるようガラス張りになっており、同空港内でも飛行機を楽しめる絶好のスポットとして、航空ファンからも愛されています。ランチ、カフェ、夜はお酒を楽しむなど様々な場面でご利用いただけます。

開店から25周年の節目に店内をリニューアルし、新たな装いで皆様のご利用をお待ちしております。



店名	ブルーコーナー UC店
住所	東京都大田区羽田空港 3-5-10 ユーティリティセンタービル 2F
営業時間	平日 11:00～21:00(L.O.19:45) (土日祝は休み)
アクセス	東京モノレール「新整備場」駅より徒歩1分 ※駐車場はございません。 ※「整備場」駅とは異なりますので、お間違いないようご注意ください。



▶ブルーコーナー UC店の最新情報は公式Instagramをご覧ください。

■ 当社施設見学会のお知らせ

当社の事業をより深くご理解いただくため、当社所有の施設見学会を開催いたします。奮ってご応募ください。
なお、2020年4月に開催予定だった施設見学会にご当選され、2023年9月30日現在においても株主の方のご応募がありましたら、優先的にご案内させていただきます。ご理解の程、よろしくお願ひ申し上げます。

開催要項

- 日時 2024年4月 平日 14時～(17時終了予定)
※日程の詳細は当選者の株主様にご案内いたします。
- 場所 東京国際空港内
- 内容 東京国際空港内の当社施設見学
- 募集人数 株主様10名
※株主様お一人につき同伴者1名様まで可
※小学生以上の方よりご参加可

ご注意

- 見学会は現地集合・現地解散となります。詳細はご当選者様に別途お知らせいたします。
- 参加費は無料ですが、現地までの往復交通費はご負担いただけます。
- 諸般の事情により内容を変更または中止させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- 見学ルートは階段や段差、狭い通路、屋外の移動等もあり、安全上の理由から車イスをご利用の株主様及び支援を必要とされる株主様につきましては、見学コースを一部変更させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※ お一人様につきお申込みは一回限りとさせていただきます。

※ 同伴者は株主の方でも結構です。

※ 株主番号は、同封の配当金計算書に記載されている9桁の番号をご記入ください。

※ 応募多数の場合は2020年4月に開催予定だった見学会にご当選され、2023年9月30日現在も株主の方のご応募を優先的にご案内しながらの抽選となりますので、あらかじめご了承ください。なお、当選者の発表は、当選者への当選はがきの発送をもって代えさせていただきます。

〈お申込み情報の取扱いについて〉

ハガキにご記入いただきました情報は、本見学会に関して必要な範囲のみで利用いたします。なお、この目的の実施のために見学先施設への入館申請時を除き、第三者へのお申込み情報の提供は行いません。当社の「プライバシーポリシー」につきましては、ウェブサイトをご覧ください。

空港施設株式会社 プライバシーポリシー URL <https://www.afc.jp/privacy/>

空港施設株式会社経営企画部 広報・IR室 afc_ir@afc.jp

個人情報取扱責任者 空港施設株式会社経営企画部長

応募要項

- 対象者 2023年9月30日現在、株主の方
- 応募締切 2024年1月12日(金)消印有効
- 当選者へのご案内 2024年1月19日(金)発送予定
(集合場所等詳細をお送りいたします)
- 応募方法 ハガキをご用意いただき、オモテ面には以下図の「オモテ」の内容(弊社所在地等)を、ウラ面には以下図の右に記載の項目を記載のうえ、空港施設(株)経営企画部 広報・IR室「株主様 施設見学会」宛までお送りください。

オモテ	
63円	144-0041
東京都大田区羽田空港 1-6-5 第五総合ビル 空港施設(株) 経営企画部 広報・IR室 「株主様 施設見学会」宛	

ウラ	
1.	_____
2.	_____

【ウラ面記載内容】

1. 株主様のご氏名、性別、年齢、現住所、株主番号、緊急連絡先(電話番号)
2. 同伴者様のご氏名、性別、年齢、株主様とのご関係

■会社概要 (2023年9月30日現在)

商号 空港施設株式会社(略称AFC)
AIRPORT FACILITIES
CO., LTD.

設立年月 1970年2月

資本金 68億2,610万円

社員数 117名(連結)

110名(単体)

■取締役・監査役一覧

(2023年7月3日現在)

取締役

代表取締役社長執行役員	田村 滋朗
代表取締役副社長執行役員	三宅 英夫
代表取締役副社長執行役員	西尾 忠男
取締役常務執行役員	久間 敬介
取締役執行役員	笹岡 修
社外取締役	杉山 武彦
社外取締役	青山 佳世
社外取締役	小椋 敏勝

監査役

常勤監査役	古宮 正章
常勤監査役	濱 隆裕
社外監査役	上野 佐和子
社外監査役	鈴木 啓公

■株式の状況 (2023年9月30日現在)

上場取引所 東京証券取引所
プライム市場
(証券コード8864)

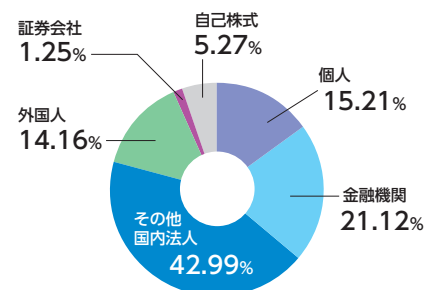
発行可能株式総数 124,800,000株

発行済株式の総数 52,979,350株

株主数 17,444名

単元株式数 100株

所有者別分布状況



大株主

株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
日本航空株式会社	10,521	20.97
ANAホールディングス株式会社	10,521	20.97
株式会社日本政策投資銀行	6,920	13.79
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,399	4.78
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE IEDP AIF CLIENTS NON TREATY ACCOUNT	1,600	3.19

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から 翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年3月31日、 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区 丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区 和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	TEL:0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日祝日および12/31~1/3を除く)

●住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●配当金のお受取りについて

従来の銀行預金口座への振込みまたは株式数比例配分方式に加え、ゆうちょ銀行口座への振込みも可能となっています。ご利用いただく場合は、お取引の証券会社等にお申出ください。